

## 「総合」授業研究会

～ 3日（金）保育園との交流をテーマに ～

総合的な学習の時間は、「児童生徒に主体的な課題意識や自己学習力を身につけ、21世紀を生きぬく問題解決の総合的な実践力を育成しよう」と、小中学校においては、平成14年度より本格的に実施されています。

来年度から完全実施となる新学習指導要領では、教科の知識・技能を活用する学習活動を各教科の中で充実する等のため、総合の授業時数が縮減されます（下表参照）。しかし、変化の激しい社会に対応していくための生きる力の育成に向けて、その役割の重要性は変わっていません。

**【改訂のポイント】「探究的な学習」**：自ら課題を見つけ、課題の解決に取り組み、そこからさらに新しい課題を見つけるという学習活動が一層重視されます。

**「協同的に取り組む態度」**：他者と協力して解決する学習活動の充実が求められています。

	3年	4年	5年	6年
現行	105	105	110	110
改訂	70	70	70	70
増減	-35	-35	-40	-40

授業時数の変更

総合的な学習の時間には、教科書はありません。学習活動は、基本的には学校の実態に応じて、学校が決定していくことになります。本校では、「屋代町に学習の場を求め、屋代町を愛し、誇りをもつ子ども」に育ててくれることを願い、「屋代の時間」という名称で学習活動を展開しています。

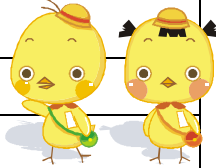
### 4年 屋代保育園ばら組さん（年中）との交流

授業研究会では、4年生の学級が取り組んでいる「保育園との交流」の授業の様子を参観して、本校のめざす「屋代の時間」のあり方を研究しました。

この学級は、子どもたちの願いから始まった交流を繰り返し、今回は4回目の交流に向けての計画作りとなりました。交流を繰り返すことで、次のことを期待しています。

**園児への想いを寄せ、困ったり**

**戸惑ったりしてしまったことを考え、よりよい交流方法を考えていくこと  
ともに交流を行う学級の友達によさに気づき、協力して交流をすること**

月	小単元名	
6月	年中さんに会いにいこう	
9月	グループで交流しよう	
11月	運動会・音楽会の取組を伝えよう	
12月	お楽しみ会（クリスマス会）を開こう	
月	（4回目の交流を振り返って計画）	

### 計画する (Plan)

園児に想いを寄せる。  
 交流の課題となる点を考える。  
 今回の交流の目標を決める。  
 交流の内容を決める。  
 学級の気持ちを一つにして、各自が交流の準備をする。

### 交流する (Do)

計画にそって、  
 交流を行う。

### 振り返る (See)

うまくいったことや思うようにいかなかったことを考える。  
 園児のよさをまとめる。  
 友達や自分のがんばりを認め合う。

次の交流へ

繰り返すごとに、活動の  
 深まりを願った単元計画

Cグループの5名の友達は、園児と一緒に「まつぼっくりツリー」を作るための計画を次のように話し合いました。

#### 1 園児を思い浮かべ、喜んでくれる活動を伝え合う。



私のペアの園児は、はずかしがり屋。ペアで一緒に作ってみたいです。

材料のまつぼっくりは、ぼくがこの休みに一重山で取ってくるよ。



#### 2 活動内容を具体的に考える。

#### 3 グループで考えた活動をクラスの全体に発表する。



外遊びが好きな子、不器用な子もいるので、ペアでツリーを作ります。

リーダーが、みんなをまとめたり、いろいろ案を出したりして、すごい。



#### 4 「友だちのピカッ」を書く。

ほかのグループも「ジングルベルと一緒に合唱奏」「手作り紙芝居」「創作劇・手品」の計画を具体的に話し合うことができました。

園児のことを考え、楽しい計画を立てようとする「思いやり」の気持ちが感じ取れました。  
 自分のやりたいことを伝えたり、友達の思いを知ったりする中で「互いのよさ」をいかし、よりよい計画を作り出そうとする努力がうかがえました。

この年長さんが1年生に入学するとき、4年生は6年生として、入学式に参加します。

#### 1年生の学級は生活科を公開「どんぐりごまを作ろう」



よく回るようにと、気に入ったどんぐりを選び、軸の位置を工夫しながら、いくつもこまを作りました。次の時間は、いよいよ「こままわし大会」です。